

# 扶桑町

にんちしょう

# 認知症あんしんガイド

この冊子は、ご自身・ご家族・ご近所の方などに認知症と疑われる症状がみられる場合に、認知症とは何かを学び、症状の進行状態に合わせて、「いつ・どこで・どのような医療や介護のサービスなどを受けることができるか」を、理解していただくためのものです。

扶桑町で暮らしている方やそのご家族が、認知症になっても、安心して生活を続けられるように作成しましたので、ご活用ください。



私は、「認知症サポーターキャラバン」のマスコット「ロバ隊長」です。認知症啓発「キャラバン」(隊商)の隊長として、「認知症になっても安心して暮らせる町づくり」への道のりの先頭を歩いています。

ロバのようにゆっくりと、しかし一歩一歩着実に、キャラバンも進んでいきます。

## <目次>

- 認知症とは？／早期発見・早期受診の大切さ…………… 1 ページ
- 認知症の進み方／若年性認知症とは？…………… 2 ページ
- 認知症の進行状態に応じて利用できる支援・制度の一覧  
／認知症サポーター養成講座…………… 3 ページ
- 相談窓口一覧…………… 4 ページ

令和5年7月発行



## 認知症とは？

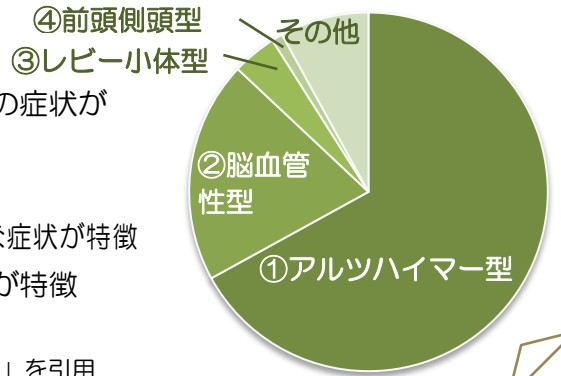
脳の細胞が損傷を受けて働きが悪くなり、認知機能の障害や、行動・心理症状（注）が進行することによって、生活に支障が出てくる状態です。

認知症の症状は様々で、対応する薬も異なります。

（注）本人の性格、環境、人間関係などの要因が絡み合って、精神症状や日常生活における行動上の問題が起きてくること。

### 認知症の主な種類

- ①アルツハイマー型認知症 記憶障害や物盗られ妄想等の症状が見られやすい。
- ②脳血管性認知症 脳梗塞や脳出血等が原因
- ③レビー小体型認知症 幻視やパーキンソン病のような症状が特徴
- ④前頭側頭型認知症 人格変化や反社会的な行動が特徴



出典：「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応」を引用

### ●認知症と症状が似ている病気

認知症のような症状が現れても、認知症ではなく、治る病気や一時的な症状である場合があります。慌てて自己判断をしないで、専門機関に相談し、適切な診断を受けましょう。

#### 代表的なもの

- 正常圧水頭症、脳腫瘍  
慢性硬膜下血腫 …手術などの処置で症状が落ち着く場合があります。
- 不適切な薬の使用 …内服薬の整理・調整で回復します。
- 甲状腺ホルモン異常 …内科的な治療で良くなる場合があります。



## 早期発見・早期受診が大切です！

認知症は誰もがかかる可能性のある病気です。

症状が軽い段階で気づき、適切な治療を受けたり、周囲の人が適切な対応をすることで、症状の進行を遅らせ、症状が改善する場合があります。「もしかしたら…」と思ったら、一人で悩まず、かかりつけ医や専門家に相談しましょう。

### ●認知症への対応と治療

#### 薬物療法

アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症には、記憶機能の低下を抑える薬があります。症状によっては、数種類の薬を併用する場合があります。

#### 非薬物療法

脳の神経細胞を刺激する行動を取り入れ、楽しさや喜びを感じることで、悪化を防ぎます。代表的なものは、回想療法、園芸療法、音楽療法などです。

#### ケア（介護）

家族や介護職員によるサポートやコミュニケーションは、認知症の進行を遅らせるのに効果的です。認知症の方の自尊心を守り、尊厳を持って対応することが大切です。



# 認知症の進み方

認知症の進行と症状には個人差があります。ご家族や身近な方の理解と、状態に合わせた支援方法を選びましょう。

認知症の段階	認知症予備群	認知症の疑い	認知症初期	認知症中期	認知症後期
ご本人の様子	軽度認知障害 (MCI) 「もの忘れはあるが、日常生活に影響がない」状態	●日付や曜日をよく間違える。 ●約束が思い出せない。 ●物を「盗まれた」と言うことが増えた。	●その場のやり取りは出来るが、後で覚えていない。 ●時間や日にちが分からない。	●事実とは違う話をする。 ●文字が上手に書けない。	●意思疎通が難しい。 ●質問に答えられない。 ●表情が乏しい。
	食事調理	●鍋をたまに焦がすことがある。 ●料理の手順が分からなくなる。	●食事したことを忘れる。 ●調味料を間違える。 ●鍋をたびたび焦がす。	●同じ食材を買い込む。 ●電子レンジが使えない。	●異物を口に入れる。 ●食事介助が必要。 ●誤嚥しやすい。
	清潔着替え	●同じ服ばかりを着ている。 ●入浴が好きだったのに、入りたがらなくなる。	●身なりを気にしなくなる。 ●入浴を嫌がる。	●服が選べない。	●着替えに介助が必要である。
	金銭管理 買い物	●お金の管理、書類作成は可能である。	●小銭を使う計算ができない。 ●通帳や印鑑の場所が分からない。	●同じものばかり買う。 ●通帳の内容を他人に見せようとする。	●自己管理は困難である。
	服薬 排泄 外出	●薬の飲み忘れが時々ある。 ●車をこするようになった。	●薬の飲み忘れが目立つ。 ●良く知った道で迷う。	●薬の用法用量がわからない。 ●失禁で汚れた下着を隠す。 ●徘徊をする。	●介助が必要である。
ご家族の心構え	●家庭内で役割を持ってもらう。 ●地域活動に参加し、繋がりを作る。 ●普段と様子が違うと感じたら、相談窓口(P.4)へ相談する。	●認知症サポーター養成講座(P.3)などで認知症への理解や接し方を学ぶ。 ●何気ないことに注意する。	●定期的な受診を心がけ、症状の変化を医師に報告する。 ●出来ないことや間違いがあっても、否定をしないようにする。 ●家族会へ参加してみる。 ●将来について、家族で話し合いをしていく。	●介護量が増え、合併症が起きやすいため、医療機関との関わりを密に持つ。 ●ひとりで抱え込まず、福祉・介護・医療サービスを上手に使う。	



## 若年性認知症とは？

18歳～64歳に発症した認知症を「若年性認知症」といいます。若年性認知症は働き盛りの世代で発症するため、ご本人だけでなく、ご家族の生活への影響が大きくなりやすい特徴があります。

- 特徴**
- 発症年齢が若い。平均の発症年齢は51歳くらいです。
  - 体力があり、ボランティアなどの活動が可能である。
  - 今までと違う変化に気づくが、受診が遅れる。
  - 経済的な問題が大きい。
  - 男性に多い。
  - 夫婦間、子どもの養育・教育・結婚、親の介護等、家庭内での課題が多い。
  - 主介護者が配偶者に集中する。
  - 介護者が高齢の親である。

若年性専門の相談窓口がありますのでお気軽にご相談ください。  
4ページ参照。



# 認知症の進行状態に応じて利用できる支援・制度の一覧

各種サービスや事業等の利用には、要件がある場合があります。詳細については地域包括支援センターまたは長寿介護課へ。

町が窓口の事業・サービス

支援の内容	認知症の進行	認知症予備群	認知症の疑い	認知症初期	認知症中期	認知症後期～
相談		地域包括支援センター・役場（長寿介護課）・認知症疾患医療センター・かかりつけ医・ケアマネジャー・民生委員				
予防		<div style="border: 2px solid green; padding: 5px;">【介護予防教室】健康ライフ倶楽部、はつらつ教室 いきいきフィットネス倶楽部</div>	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px;">「認知症サポート医」とは、かかりつけ医へ助言等の支援をしたり、専門医療機関・地域包括支援センター等との連携の推進役となる医師です。</div>			
		老人クラブ、地区宅老（地区サロン）				
医療		かかりつけ医、歯科医、かかりつけ薬局、認知症サポート医、認知症疾患医療センター（P.4）、もの忘れ外来				
		訪問看護、精神科（外来・急性増悪期の一時入院）				
介護		<訪問型>ヘルパー、訪問リハビリ、訪問看護、訪問入浴、居宅療養管理指導（栄養士・薬剤師等） <通所型>デイサービス、通所リハビリ				
		短期集中通所等サービス	<施設に通う>認知症対応型デイサービス、<施設に泊まる>短期入所（ショートステイ）			
生活支援	<div style="border: 2px solid orange; border-radius: 50%; padding: 10px;">             各種サービスや事業等の詳細については、長寿介護課または地域包括支援センターへお問い合わせください。           </div>	配食サービス、緊急通報システム、寝具洗濯乾燥サービス、訪問理容サービス、タクシー料金助成、チョソコふそう 在宅ねたきり老人等介護手当支給、高齢者日常生活用具給付、認知症サポーター養成講座（※1）				
		任意後見制度、日常生活自立支援事業			高齢者等見守り登録、徘徊高齢者家族支援サービス（GPS貸与）、見守りシール（※2）	
		高齢者安心見守り事業				
		自立支援医療、障害年金、生活保護				
住まい		住宅改善費助成	介護保険住宅改修費支給			
		ケアハウス、有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅				
		グループホーム、老人保健施設			特別養護老人ホーム	

## ◆認知症サポーター養成講座（※1）

長寿介護課 内線533 1階 ②番窓口

認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かい目で見守ることのできる応援者を養成する出前講座です。

症状、予防方法、認知症の方との接し方などを学ぶことができます。

所要時間は約90分無料で開催します。受講いただいた方には、「認知症サポーター」の証である認知症サポーターカードをお渡しています。



住民ボランティアグループ「FUSO認知症たすけ隊」のメンバーが講師として活躍しています。

## ◆認知症のご家族の方へ（※2）

長寿介護課 内線533 1階 ②番窓口

- 高齢者等見守り登録
- 徘徊高齢者家族支援サービス  
徘徊した場合に、すぐに居場所が検索できるGPSを貸与します。
- 見守りシール  
QRコードのついたシール（40枚交付）を衣服やカバン等に貼付すると、徘徊した場合に、発見者がQRコードを読み取ることで、掲示板を介してご家族と発見者が情報のやりとりをすることができます。

## 日常生活や在宅介護など、生活支援に関する相談はこちらへ

### 扶桑町地域包括支援センター ☎0587-91-1171

(所在地：扶桑町大字斎藤字榎 230 番地・扶桑町総合福祉センター1階)

高齢者が、住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるように設置された、総合相談窓口です。認知症に関する相談の他、医療機関の受診、介護保険に関すること、高齢者虐待などについて、専門の職員が相談に応じます。

相談日時 月～金曜日 8:30～17:15 (祝祭日、年末年始は除く)

### 扶桑町役場 長寿介護課

☎0587-93-1111 内線533 ②番窓口

ダイヤルイン☎0587-92-4118 ※令和5年10月1日より使用可能です。

☎0587-92-4119 ※令和5年10月1日より使用可能です。

(所在地：扶桑町大字高雄字天道 330 番地・扶桑町役場1階)

介護保険や高齢者福祉の担当窓口です。認知症や介護の相談、介護保険や在宅福祉サービスの申請ができます。

相談日時 月～金曜日 8:30～17:15 (祝祭日、年末年始は除く)

### 愛知県認知症電話相談 ☎0562-31-1911

(認知症の人と家族の会 愛知県支部)

認知症の方の介護の方法や対応の工夫、悩みなどについて、認知症の知識や介護経験を持った担当者が相談に応じます。

相談日時 月～金曜日 10:00～16:00 (祝祭日、年末年始は除く)

### 若年性認知症コールセンター ☎0800-100-2707

若年性認知症専門の相談窓口です。専門の相談員が相談に応じます。

相談日時 月～土曜日 10:00～15:00 (祝祭日、年末年始は除く)

## 受診や診断、治療薬など、医療に関する相談はこちらへ

### 認知症疾患 医療センター

認知症の専門医療相談、診断、身体合併症と行動・心理症状(BPSD)への対応、地域連携の推進などを実施している医療機関です。医療相談室が設置され、専門医の他、精神保健福祉士等の専門職が配置されています。

(令和5年5月時点)

● 医療法人清和会 あさひが丘ホスピタル ☎0568-88-0959  
(春日井市神屋町1295-31)

● 連携病院

- ・東海記念病院
- ・名古屋大学医学部附属病院
- ・愛知医科大学
- ・名古屋徳州会総合病院
- ・国立長寿医療センター

発行 扶桑町・扶桑町地域包括支援センター